



# 若者が夢を持てる農業とは

4名の青年農業者が実践発表  
農業を学ぶ学生たち、行政関係者を交えたパネルディスカッション

## 《プログラム》

司会：NPO 法人日本都市農村交流ネットワーク協会 理事 坂梨健太（龍谷大学農学部講師）  
開会あいさつ

問題提起：若者の農業への期待と不安を抱える就農者達 NPO 法人農楽マッチ勉強会 理事長 山本文則

### ＜第Ⅰ部：若い農業者から実践報告＞

- 報告 1 「若者が夢を持てる養鶏をめざして」 岡 崇嗣  
龍谷大学卒業後、養鶏に興味を持ち、養鶏大国のメキシコに留学。「ケージ飼い」に疑問を持ち、自らの養鶏のあり方を探求し、美山町などで研修。「健康な鳥から良い卵を」と養鶏場開設を準備中
- 報告 2 「あとつぎとして農業に賭ける」 京野菜 いのうち代表 井内 徹  
自動車整備関係の仕事をやめ、父親のあとをつぎ就農 2 年目。パイプハウス 5 棟で、JA 京都やましろ万願寺部会で先輩達に学び、奥さん、従業員 1 名で取り組む。水稻 2ha、こかぶ、キャベツも栽培
- 報告 3 「安全安心なお米、野菜作りをめざして」 エチエ農産代表 越江 昭公  
環境に優しい農業を目指し、2011 年にはコメ等に「有機 JAS 認定」を受ける。18ha の水田、5ha の野菜作り、六次産業化で聖護院切干大根等商品化
- 報告 4 「夢をもって丹後国営開発農地に就農、3.5ha に挑戦」 西崎 光弘  
丹後農業実践型学舎で実践的農業を学び、丹後国営開発農地に就農して 3 年目。現在、3.5ha でキャベツ、大根、人参、枝豆等多品目野菜を栽培

### ＜第Ⅱ部：意見交換と討論＞

発言予定者・・・農業を学ぶ学生達（大阪農業大学校山岡崇、JA おうみ富士と連携した活動をおこなう龍谷大学農学部の学生）、京都府行政関係者、田園紳士代表、参加者等に発言要請予定

まとめと閉会 六次産業化に関する新出版物の紹介など

## 2018(平成 30)年

## 3月 18 日(日曜日) 13:30～16:30

**会場** 龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B 110 教室

京都市伏見区深草塚本町 67

**アクセス**

JR 奈良線「稻荷」駅下車、南西へ徒歩約 8 分

京阪本線「深草」駅下車、西へ徒歩約 3 分

京都市営地下鉄 烏丸線「くいな橋」駅下車、東へ徒歩 10 分

**参加費** 1000 円(ただし学生 500 円) ※懇親会費は別途実費（懇親会への参加自由です）

**定員** 80 名(先着順)

**申込み** FAX・E-mail いずれかでお申し込みください(裏面参照)

シンポジウム「**若者が夢を持てる農業とは**」

(第10回『農』の六次産業化シンポジウム／農楽マッチ勉強会セミナー)

# 参加申込書

【申込締切：3月11日(日曜日)】※定員に達し次第、締め切ります。

【申込方法】どちらかのNPOに、それぞれの方法にそって、①氏名・②住所・③電話番号・④懇親会の出欠、を3月11日(日曜日)までにご連絡ください。

一般の方 / NPO 法人 日本都市農村交流ネットワーク協会の関係者

FAXまたはE-mailをお願いします。電話での受付はいたしません。

- ・FAXの場合 → 075-344-0465 に本参加申込書を送信
- ・E-mailの場合 → jimukyoku@gtnet.sakura.ne.jp

問い合わせは、上記メールアドレスまたは090-7115-2695(尾松)まで

NPO 法人 農楽マッチ勉強会の関係者

次のメールアドレス宛てにE-mailをお願いします(代表：山本文則)。

yamamoto@noramatch.com または yamamoto.huminori@gmail.com

問い合わせは、上記メールアドレスまたは090-3443-9588(山本文則)まで。

シンポジウム「**若者が夢を持てる農業とは**」に以下のとおり申し込みます。

学生は○	氏名	住所	TEL	懇親会参加(O、X)

《会場案内図》 龍谷大学 深草キャンパス 和顔館 B 110 教室

